

帯広畜産大学同窓会報

第19号 平成24年11月 帯広市稲田町西2線11番地 帯広畜産大学内 帯広畜産大学 同窓会事務局発行

逍遙舎の今

会 長
由 佐 壽 朗
(昭和41年農化)



長く続いた残暑も彼岸を過ぎて急に涼しくなり肌寒ささえ感ずる昨今です。

帯広畜産大学同窓生の皆様方にはご健勝のことと存じます。

昨年の秋晴れの日、創立70周年記念事業及び式典に多くの関係者のご出席と多大なご協力を賜りました。改めて心より感謝しお礼を申し上げます。

久しぶりの母校は、大きく様変わりし立派になったことをご確認いただけたと思います。

記念講演会一人目、福島県飯館村村長・菅野典雄氏は畜産大学同窓会一員です。被災の中から立ち上がる努力と日頃の首長として住民の人達と接するきめ細やかな心遣いには、言葉に表されない厳しさと現実を受け取ることができました。今現在も、長澤学長、辻教授ほか数名の畜大の方々が福島県で除染の方法の研究などに前向きに取り組んでおられます。

また、二人目の講演は旭山動物園園長・坂東元氏で、

日頃動物との関わりの多い畜大生や十勝管内の一般の方々も多数来場され、「伝えるは命の輝き」に熱心に聞き入りました。

翌日の記念式典に引き続き行われた「記念会館引渡し式」そして「記念祝賀会」には、これ以上ない十勝晴れのもと多数の関係者各位、同窓会の方々に盛大に行われ、協力各社のご厚意で十勝産品の提供もいただきました。メインの“牛丸焼”は畜大ならではのものです、昔自慢の胃袋でも食べきれない程で大いに旧交を緩め舌鼓を打った一刻でした。

このとき誕生した「逍遙舎」建設一年を経、すっかり周囲の雑木林にとけこみ、道産エゾマツの角ログも程良い色合いになり、落ち着いた雰囲気です。多くの関係者のご尽力で設立された「逍遙舎」は、当初の目的どおり同窓会、畜大関係、学生のコミュニティの場として連日使用されています。

同窓会の会議も役員会、評議会、夏のビールパーティ、また研究室打ち合わせ、運動部OBの会合など、小じんまりとした使い勝手の良さで大変重宝されています。

最近では逍遙歌の額縁、「東雲紅く色染みの…」の歌詞の碧雲寮歌、また旧黎明寮、萌宥寮の写真などが飾られ、昔懐かしさが室内にいっぱいあります。いろいろな形でご利用くだされば大変ありがたいです。

尚、逍遙舎利用についてはこの会報の別項でご案内しております。

寒さ迎える折、同窓会各位のご活躍とご健勝を祈念してご報告といたします。



副会長に就任して

副会長
砂川敏文
(昭和45年草地)



昭和45年（1970）草地学科卒業の砂川敏文です。香川県出身で畜産大学入学で北海道との縁が出来ました。

卒業後、農林省、北海道開発庁勤務を経て平成10年帯広市長に転じ、3期12年任期満了により平成22年に退任しました。

現在、畜大から売買川を挟んだ北側、緑陽高校の隣の自宅で、各種のボランティア活動に従事しながら暮らしています。今後とも帯広市民として地域のために尽力できればと考えています。

このたび、同窓十勝会の会長として、同窓会本部の副会長を拝命しました。どうぞ宜しくお願いします。

帯広畜産大学は専門分野に特化した小規模な大学ですが、その高い研究水準の維持と更なる向上に努める一方、広く全国から学生を集め有為な人材の育成と供給のための教育にも力を注いでいます。専門分野にとって最適な地域に立地し、地域への貢献は大きなものがありますし、発展途上国を中心に国際貢献にも成果を挙げています。

市長在任中もいろいろな機会に、頑張っている畜大のPRに努めてきましたが、「帯広です」というと「畜産大学がありますよね」という声が返ってくるのが多くなり、嬉しく思っています。

文科省内部においてもこうした畜産大学の活躍は一定の評価を得ているところです。

法人化され自由度が増す一方、一層の研鑽努力が求められる大学執行部を勇気付けるとともに、同窓の方々が懐かしさとともに誇りを持って帯広畜産大学を語っていただければと思います。

会員の皆様には、今後とも畜大と畜大同窓会を温かく見守り、応援していただきますようお願い申し上げます。



秋も深まった顕彰碑付近

創立70周年記念事業へのご支援、ご協力ありがとうございました

学長
長澤秀行
(昭和53年獣医)



昨年10月に開催されました創立70周年記念式典、祝賀会、並びに記念講演会、同窓会館の竣工、記念誌の発行など、同窓生の皆様には、大変お世話になりました。皆様のご支援ご協力に対し、心より感謝申し上げます。

同窓会館の「逍遙舎」は、雰囲気も良く、コンパに会議に飲み会にと、有効に活用させていただいております。室内には、私が学生時代、食堂にあった「碧雲寮寮歌」の額も飾っております。これからも、同窓生の要望をお聞きしながら、有効活用に努めたいと思います。

記念式典に先立ち、本学同窓生である飯館村の菅野典雄村長に、講演していただきました。「ないものねだりをするのではなく、発想の転換とアイデアで、心ゆたかな地域づくりをする時代となった。」「小さくても輝く、オンリーワンの地域づくりを目指す。」「いわゆる、「までい」の心を持って、「いかなる困難に遭遇しても、何度でも、いい国を作るという気持ちを忘れない。」という力強いお話をお聞きしました。未曾有の自然災害である東日本大震災、人災とも言われる福島原発事故から約一年半がたちますが、復興は遅々として進まずといった印象です。私たち一人一人が、被災した各地域の人々の復興への道のりを見守りつづけ、できうる限りの支援をし、助け合うことが必要であると考えます。先日、福島県を訪れ、同窓生である菅野宗夫氏、白石芳男氏らとお会いしました。それぞれ、復興に向けて最前線で活動を続けられており、頭が下がる思いとともに、本学同窓生の底力を垣間見ることができました。

さて、学内の学生たちも、その存在感を内外にアピールしています。例えば、学生サークル「あぐりとかち」が「まち育て部門」で帯広市から「まちづくりデザイ



碧雲寮食堂にあった「碧雲寮歌」の額

ン賞」を受賞、帯広市文化・スポーツ振興財団との連携による体育会系サークルの社会貢献事業、国際的には、南米パラグアイにおける JICA 青年海外協力隊短期派遣事業などの他、女子アイスホッケー部は全国大会準優勝、男子カーリング部が全日本大学選手権大会優勝、ゼニガタアザラシ研究会が創立30周年記念シンポジウムを開催、全日本大学対抗ミートジャッジング競技会で大学対抗部門優勝など、枚挙にいとまがありません。先日、私が所属する帯広ロータリークラブで、「うしぶ。」に講演してもらいました。「うしぶ。」は、畜産フィールド科学センターを活動拠点とする学生サークルですが、技術の高い学生を非常勤職員として採用して、「畜大牛乳」の搾乳を担当してもらっています。講演のタイトルは「畜大牛乳一食の安全と地産地消について考える」でした。岡山県出身の性全裕美さん、長野県出身の安倍いちいさん、島根県出身の加藤里佳さんの3人は、ロータリアンの前で実に堂々と発表し、拍手喝さいを浴びていました。

本学は、生命、食料、環境をテーマに、農学、畜産科学、獣医学に関する教育研究を推進する、我が国唯一の国立単科大学です。自然を相手に営む産業である「農

業」、私たちの健康の源となる「食料」、私たちの精神的な支えとなる「動物」に係る諸課題は、必然的に、現代社会が抱えている気候変動、食料安全保障、環境問題、エネルギー問題、感染症、少子高齢化問題などの諸課題と密接に関連します。従って、これらの課題解決に関わる人材育成は現代社会の緊急ニーズと言えます。

平成16年の法人化以降、国立大学の運営費は毎年削減され続けています。先の政権交代の折、民主党マニフェストによれば、国立大学運営費は増額すると約束されていたのですが、…。それどころか、某財務大臣は「国立大学は、ここ20年間、何の改革もしていない。」と発言するし、教育も国立大学も「事業仕分け」の対象となるし、経団連は「国立大学は多すぎるので10校程度に減らすべき」と言うなど、中央の政財界は地方の実情も見ずに、財務省の言い成りになっているというのが現状です。

このような逆境にあっても、畜大は元気な学生とともに、これまで同窓生が築き上げた実績のもと、今後とも、社会に高く評価される大学づくりを進めて参りますので、引き続き、皆様のご支援ご協力、よろしくお願い申し上げます。

会 員 だ よ り

帯広畜産大学獣医学科昭和41年卒 卒後46年大クラス会一同

事務局

樋 口 脩
(昭和41年獣医)

今年はまたまた、暑い日が毎日続いておりましたが、10月に入ってようやく涼しい、いや、朝夕は寒いぐら

いなお天気となりました。

昨年の大学創立70周年では、総会・祝賀会ともに大盛會裏に終了し、心よりお慶び申し上げるとともに由佐会長をはじめ事務局局長ほか役員ご一同のご奮闘に心より敬意を表します。

さて、23年の大クラス会は、当然、帯畜大創立70周年にあわせて市内（ふくいホテル）にて10月7日開催し、31名（闘病中2名）のうち27名が出席、盛大に再会と美酒を交歓しました。

第一報にも記載しましたが、卒後10年より始まり、平成8年からは5年毎、平成16年からは2年毎、平成



帯広畜産大学獣医学科昭和41年卒 卒後46年大クラス会

平成24年10月8日
於：ホテルニューオータニ鳥取

18年以降は毎年実施ということで19年盛岡市（横井・錦織幹事）、20年帯広市（久保田・岩間・樋口幹事）、21年富士吉田市（飯島・萩原・萬場幹事）、22年小樽市（山田紘・本間・高橋幹事）と開催されてきました。いずれの会も出席率は80%以上で、仲間同士で驚いております。今年は鳥取市在住の太田垣氏が幹事となり、去る10月8日、ホテルニューオータニ鳥取にて、25名出席（うち5名は奥様）でなごやかに、また盛り上がり、逍遙歌で終了いたしました。次回（平成25年）は弟子屈在住の三城氏が幹事となり企画中です。

今後の帯広畜産大学同窓会の輝かしい発展をお祈り申し上げます。

帯広畜産大学同窓会石川県支部 発足記念親睦会の開催について

この会の発端となる帯畜大OB親睦会は、八木幸隆氏（昭和47年獣医卒、現石川県獣医師会会長）のもと橋本（昭和56年獣医卒）が幹事となり開催しておりました。手探り状態の中、同窓会名簿を手がかりに、出来るだけ多くのOBの方に声をかけ、平成18年8月に第一回帯畜大石川県OB親睦会を行いました。当初は隔年としておりましたが、平成23年度から毎年開催とする事にし、今年度で5回目開催となります。現在、名簿上では石川県に44名の同窓生が在籍しますが、一昨年からは富山県の同窓生の参加も募り毎年賑やかな会となっております。

今年度開催にあたっては、本学同窓会辻事務局長の助言もあり、正式に帯広畜産大学同窓会石川県支部として発足することにいたしました。さらに、この記念すべき第5回を開催するにあたっては、大学より長澤学長と同窓会より辻同窓会事務局長のお二人にもご出席していただく運びとなりました。

つきましては以下の日程で開催することに致しましたので、近隣の皆様にご案内申し上げます。

1. 日時 平成25年1月26日（土）18時から
2. 場所 未定（JR金沢駅近辺です）
3. 会費 10,000円（宿泊なし、今のところ2次会も含めて）
4. 連絡先 連絡はEメールかFax、HPの「お問い合わせ」をお願いします。
（電話はご遠慮下さい）
Email : gfd04336@nify.ne.jp
Fax : 0767-22-5253
石川県羽咋市石野町口45-3
ひまわりペットクリニック
橋本 良行（昭和56年獣医卒）
HP URL : <http://ishikawa-obitikuob.jimdo.com/>

富山県在住の同窓生、また福井県在住の同窓生の参加も歓迎いたします。

参加ご希望の方は上記連絡先までご一報下さい。

詳しい開催場所については決定次第上記HPに掲載しますので、HPをご覧ください。

また帯広畜産大学在籍中の学生の方の参加も大歓迎です。

それでは皆さんお待ちしております。



池北線支部（ふるさと銀河線） について

池北線支部長

樋口 脩
（昭和41年獣医）



今年の夏は本州はもちろん、この北海道・十勝でも猛暑が続き、9月になっても30℃を超える日が多々ありましたが、今日この頃、朝夕はめっきり冷え込み、今朝氷点下を記録したとのニュースもありました。

池北線支部は、今年も2月17日に総会および新年会を足寄町（三町の交代制）にて開催し、昨年開催された帯広畜産大学創立70周年での総会議事・報告などを報告および協議し、その後新年会に入り和気藹々と酒を酌み交わし、尽きない話で「あっと」いうまに「帯広畜産大学逍遙歌、アインツバイドライ」で、楽しい宴が終了するのがいつものスタイルです。来年は、厳寒の陸別町で開催予定ですが、参加者が少ないのが支部としての悩みです。

池北線支部104名

本別地区53名（幹事 平本一平成7年獣医）

足寄地区43名（幹事 河原一平成8年畜産管理）

陸別地区9名（幹事 細野一平成3年獣医）



釧路支部総会を開催して

釧路支部長

伊 織 正 一
(昭和32年獣医)



支部総会を10月13日釧路市で長澤学長、由佐会長のご臨席をいただき、会員28名が出席のもと開催しました。総会では規約を諸情勢に対応のため一部改正を提案し承認されました。総会終了後の懇親会は2年振りとあって、会員同士の情報交換、ご来賓を囲み往時の思い出、学校、仲間の会話などで盛り上がりました。

春以来の低温・日照不足による農作物の生育遅れは、8～9月の異常高温で生育を取り戻しましたが、家畜や生産物への影響は若干ありました。北電の計画停電は回避されて豊穰の秋を期待しています。農業情勢は市場開放、TPP、補助金の削減、支援策の見直しなど内外共に厳しさが続いており、農業に関係の多い会員にあっては、住民の理解・支援を得る心掛けが大切と思っています。こうした情勢の中、今般の総会がいささかその想いに応えてくれれば有り難いと思っています。

当支部会員は名簿上で180名ですが、今般の出席は28名で、来賓、出席会員には申し訳ない思いでした。会員数は横ばいではありますが、年々参加者が減少傾向にある事から、案内の方途、新規の掘り起しなど、役員・世話人に汗をかいて貰いました。同窓会名簿で作業をする中で、自宅住所や勤務先の不掲載希望が多かったことは想定を遙かに超え、特に若い層に顕著でした。平成17年個人情報保護法が施行されて以来、数年でここまで普及？したかと思ひ、今後は流行病的に増加するでしょう。同窓会活動が旧態依然としたやり方で、停滞・先細りにある当支部では、今後この事象は憂慮されると思えたが、会員の意識の変化や今後の同窓会活動（支部総会・懇親会・集会など）の活性化に向けた示唆と受けとめ、妙案は難しいが知恵と汗をかく時期が来た様と感じました。



オホーツク支部の近況

オホーツク支部長

堀 次 郎
(昭和42年獣医)



オホーツク地方にあっては、9月になっても真夏日が幾日も記録されるという近年に無い異常な天気が続いておりましたが、農業においては何とか平年作並の収穫が出来たと聞いております。

さて、帯広畜産大学同窓会オホーツク支部の動きであります。当支部も本部と同じく隔年ごとに総会を開催しているため今年はこちらの動きはありません。そこで、昨年9月17日に行われました総会と親睦会の状況を報告させていただきます。

以前にも同窓会報でご報告いたしましたが、オホーツク支部では平成23年5月23日現在323名の同窓生が居り、その全てに総会の案内を送りました。その結果、出席者25名 欠席者72名 返事なし205名 返送21名（死亡1含む）でした。

当日は長澤学長がご自分で車を運転し佐呂間町まで来ていただきました。本部からは辻先生が出席を下さる予定でしたが、開催日直前に椎間板ヘルニアとなり残念ながら欠席されました。私共地元世話人と致しましては以前から計画しておりました通り、畜大同窓会らしく地元のサホークを調達しジンギスカンでの親睦会といたしました。ジンギスカンのタレは私が繁殖教室でお世話になっていた頃に働いておられた小川さんという方が試行錯誤を繰り返して完成された畜大を代表する“小川式タレ”を復元して使用しました。

長澤学長を囲んでのジンギスカンパーティは実に盛り上がり、久しぶりの同窓会には初対面の人達もいましたが、流石に畜大で学んだ仲間だけあって直ぐに打ち解け深夜まで飲み、語り合いました。

宿泊者の数が予定よりも多かったため、女性4名分の部屋が用意できなかったため会場に近い我が家で泊り、女子会で盛り上がったそうです。



明年は再び佐呂間町での総会を予定しておりますので、そろそろ地元の有志で計画を練りたいと考えております。

追伸：“小川式ジンギスカン・タレ”のレシピを希望される方はご一報を！

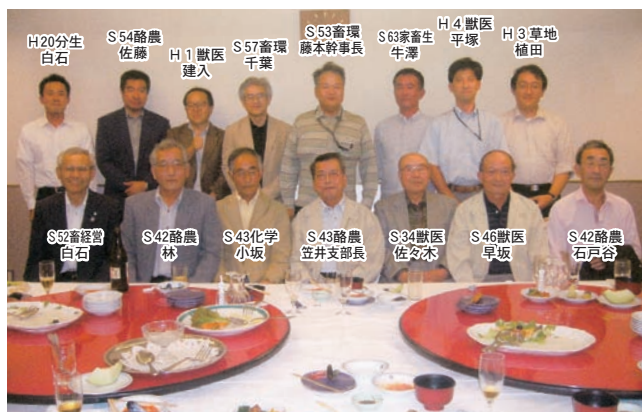
宮城県支部の近況報告

宮城県支部長

笠井 晋
(昭和43年酪農)

平成24年度の帯畜大同窓会宮城県支部総会及び懇親会は、9月28日(金)に仙台市内のホテルにて行われました。今回の参加人数は15名で、名簿記載人員数81名から見ると少々淋しい感がありました。

総会は、支部長より、昨年の大学70周年記念式典への参加報告、建立となった同窓会館「逍遙舎」の概要報告、前年の会計報告の後、懇親会となり、各人の自己紹介、近況報告となりました。話題も仕事の話、近況について話すと、全員が少なからず大震災の被災者なので、話の中心がどうしてもそこへ行ってしまうという感がありました。なごやかに酒を飲み、又来年の再会を期して散会となりました。



※左端の上・下段の2名は親子です。

新潟県支部の近況

新潟県支部事務局

石田 秀史
(昭和53年獣医)

新潟県支部では、去る7月7日に2年ぶりに新潟駅前の「新潟東急イン」で同窓会を開催しました。当日は、同窓生12名が出席し、開会に先だちこの間に亡くなられた2名(中野泰栄氏 昭和19年獣専、荒川治男氏 昭和36年獣医)の冥福をお祈りするため黙祷を捧げました。

同窓会は伊藤道秋会長(昭和38年総農)の挨拶の後、事務局佐藤将典会員(昭和46年獣医)から2年間の主な出来事の紹介、会計状況のほか、畜大創立70周年記念式典・祝賀会に出席した旨の報告がありました。また、役員の変更が提案され、新しい会長に楠原征治会員(昭和40年獣医 新潟県獣医師会会長 新潟大学名誉教授)、副会長に不二崎順二会員(昭和49年獣医(留任))、同じく副会長に佐藤将典会員(昭和46年獣医)、幹事長(事務局)に筆者が就任することになりました。

一通り議事を終えて懇親会に移り、出席者の自己紹介と近況報告等が行われました。中でも、「碧雲寮」という名称がなくなり、男女が住居する「学生寄宿舎」となり、管理も学生でなく業者が行い、部外者が簡単には入れなくなったとの話題では、碧雲寮同窓が多いこともあって一同大変な驚きでした。また、今回出席された野本優二会員(昭和58年環境)から医師として新潟県市民病院に勤務されているとの紹介があり、ちょうどフジテレビ系で「37歳で医者になった僕」という番組が放映されていたこともあって、卒後の努力に敬服しました。出席者は少なかったものの予定の時間をオーバーするほどの盛り上がりで、最後はやはり「逍遙歌」を遠山潤会員(昭和61年獣医)の前口上で一同高らかに歌い、散会となりました。

関東同窓会の近況報告

関東同窓会長

萬場 光一
(昭和41年獣医)



富士の初冠雪を聞いたと思ったら、各地より紅葉の便りの今日この頃です。皆様にはご健勝の事と拝察致します。関東同窓会等について近況をお知らせします。

此の度、6月の畜大関東同窓会の総会で会長に選ばれました萬場光一(41V)です。森田邦雄前会長(41V)の様には出来ませんが、小生なりに微力ながら大学の発展と同窓会の隆盛の為尽力致しますので、宜しくお願い申し上げます。まず、6月16日に銀座ライオン7丁目店で開催されました関東同窓会の内容についてご報告致します。大学からは長澤秀行学長、三竹俊之副学長、由佐壽朗同窓会会長と辻修同窓会事務局長の御出席を頂き、参加者58名と盛況でした。まず、総会次第では平成23年度事業報告、会計報告等がされました。続いて物故会員3名(18V 永江純孝さん、33V 窪道讓夫さんと57D 真壁文男さん)に対して黙祷を捧げた後、懇親会に移りました。まず、渡部憲嗣副会長(32V)の開会の辞があり、次いで長澤学長から昨年の創立70周年記念事業に当会からの会委員多数の参加に対する謝辞と共に大学の近況報告がございました。続きまし

て、由佐同窓会会長より創立記念事業の一環としての同窓会館「逍遙舎」の完成など、同窓会本部の近況報告もなされました。その後、永江巖副会長（23C）による乾杯から懇親会に入りました。各グループでの歓談はもちろん、恒例のプロのコーラスグループの歌も入り大盛況でした。予定時間を過ぎましても未だ話したりない状況ですが、宴たけなわの中、各務俊彦副会長（35D）による閉会の辞を以て、20時25分に来年の再会を確約しつつお開きになりました。さて、訃報がございます。昭和59年から平成4年まで畜大の家畜外科学教室の教授を務められ、更に当関東同窓会の会長・顧問をしておられました、亀谷勉先生が9月20日にご逝去されました（享年84）。9月23日にお通夜、9月24日に告別式が行われ、多数の参列者と逍遙歌の流れの中、野辺の送りとなりました。亀谷勉先生の永年の御功績に敬意を表しますと共に、会員一同衷心よりご冥福をお祈りする次第でございます。

以上が平成24年度関東同窓会の主な出来事でございます。

三重県支部の近況

三重県支部長

白井茂雄

（昭和45年獣医）



9月22日の秋分の日、毎年恒例の三重県支部総会を津市で開催。今回は、来賓として長澤秀行学長と同窓会の砂川敏文副会長（前帯広市長）を帯広からお招きしました。参加者は支部会員11名と来賓の総勢13名でしたが、来賓のお二人を囲んで母校や帯広のことなど話題が尽きず、これまでになく盛会でした。

現在、当支部の会員数は62名で、うち昭和の卒業生が33名、平成が29名と若い会員が増えつつあり、学科別では獣医学科が20名と最も多く、次いで家畜生産科学、畜産環境科学と続きます。今回の総会では参加者11名中9名が獣医学科で、他の学科と若い方の参加が少なく、いつものことながら少し残念でした。

総会では当支部の現況報告と、昨年10月の大学創立70周年記念式典ならびに同窓会館「逍遙舎」について報告し、そのときの写真を参加者に回覧しました。

懇親会は最長老・櫻井武夫氏（S30獣医）の乾杯で始まり、長澤学長と砂川副会長から母校と帯広の最新事情をお聞きして大いに盛り上がりました。具体的には学生の男女比がほぼ1対1になったこと、そのせいかラグビー部や馬術部などの部員が集まらず試合が困難なこと、大学に観光バスが乗り入れるようになったこと、大学の施設が立派になりすぎて昔の畜大らしさがなくなったことなど。また帯広については、お菓子

の「不二家」が進出したが採算がとれず撤退したこと、同じように全国チェーンのカレー店や焼肉店も撤退したことなどがたいへん興味深く、帯広は他の都市と異なり、市民が地元の店をととても大切にしている街だということを知りました。

最後に、小動物開業の現役で津地区獣医師会の関口弘之会長（S39獣医）の中締めでお開きとなりましたが、来賓のお二人はかなりの酒豪とお見受けし、いくら飲んでも酔った気配がなく、特にラグビーで鍛えた立派な体格の学長が酔うには大量の酒が必要ではないかと実感しました。



同窓会大阪支部近況

大阪支部事務局長

藤崎泰造

（平成元年畜産環境）

恒例初夏の緑地公園BBQ20数名盛大に！

6月17日 例年にも増して豪華な食材盛りだくさん。ジンギスカンに十勝産牛と羊、さらに浜中産の鹿肉！豪快に炭火焼！30名近い同窓生が豊中市服部緑地公園に集いました。年々豪華になっていますね。

そしてもうすぐ同窓会総会&忘年会。食べて呑んでばかりのようですが…。まずはこれが基本ですよ。同窓生のご縁を緩やかに繋ぐ会に

先日浜中の farmdesigns（海野社長 酪農 大阪市出身）で偶然出会った芽室の畜産農家Oさんは、ホクレン大阪駐在の鈴木誠一君に紹介した九州の食料品店に牛肉を納めてくれている方でした。鈴木君は同窓会大阪支部のメンバーで碧雲寮3Sの後輩。浜中で九州と大阪と十勝がつながる。これも同窓会のおかげです。良因を繋ぐきっかけのことを「縁」というのだそうですが、同窓会はまさに「縁」。大勢参加者のある楽しい運営をしたいものです。

12月8日総会&忘年会は「ア・〇・リ」

…で、今年の総会&忘年会は目玉が3つ！！

一、兵庫県支部との合同開催！

二、コンセプトは『炉端のア・〇・リ』
食材持込可の怪しい貸し会場で懐かしのあの店を
再現！秋アジ、カジカ、ホッケに氷魚・・・目指す
はロ・バ・タ・ノ・ア・〇・リ！

三、さらに！学長来場～！（未定）

■日時：12月8日（土）12時～

■場所：大阪市・肥後橋『ささ華林』

■会費：5,000円／人

只今参加希望者大募集中！

どなた様でも大歓迎、メールで参加表明をお願いします。
※現在案内葉書は年会費500円（往復葉書代、事務費）
をお納めいただいた方だけに送付中です。総会
& 忘年会の機会に、ぜひお申込ください。

詳細・連絡先：

<http://groups.yahoo.co.jp/group/chikudai-osaka/>

TEL：06-6482-8061（株）ナカガワまで



鳥取県支部近況報告

鳥取県支部長

太田垣 公 利

(昭和41年獣医)



畜産大学も大きく変わり、山際三郎学長は昭和41年卒業式において『畜大生は百姓になれ』といわれました。

長澤秀行学長は平成23年創立70周年記念において『地域及び国際社会に貢献すること』といわれました。益々国際社会との関わりが大きくなっている現状です。（益々の努力が必要のようです）

《支部状況》

支部総会を年1回・中国地区の3件（鳥取、島根、広島）合同同窓会を実施しています。昨年の支部総会は鳥取市で行いました。3県合同同窓会は広島で行われました。その際、大学から樋口先生・辻事務局長の出席がありました。

今年の支部総会は11月皆生温泉にて予定をしています。

す。大学から長澤秀行学長・事務局の出席をいただく予定です。

《会員紹介》

初代支部長朽木広に代わって、私がお世話をしています。

朽木先生はお元気に近所の方々と陶芸を楽しんでおられます。

福本幸久（昭和46年獣医）鳥取県支部事務局として、重責をお願いしています。

畦地啓輔（昭和50年草地）ツバヌキ牧場において牧場長として活躍しています。

天野光雄（昭和59年生産）近代的設備・技術で鳥取県の酪農をリードしています。

山崎寛子（昭和60年環境）環境の検査関係で活躍しています。

小谷道子（平成6年獣医）家畜保健衛生所において活躍しています。

増田恒幸（平成19年獣医）帯広で水泳を始めて、今では国際試合に選ばれる水泳の実力者です。

以上簡単ですが近況報告といたします。



九州支部の近況

九州支部長

深 田 泰 三

(昭和30年酪農)



九州支部は1968年設立、今年で44周年を迎える。設立20周年には「碧雲」を出版、40周年は同窓会発祥地福岡市で記念パーティを行った。毎年11月の最終土曜

日に定期総会を行うことと開催場所は各県持ちまわし
で実施してきたが色々の事情から、一昨年から熊本が
地理的九州の中心ということで熊本県在住の会員の方々
には大変な仕事量になるが、毎年総会会場設営をお願い
し了解を得た。特殊な場合は別途考えることに総会
で決まった。

会員数は181名（平成24年事務局調）の大所帯となり、
各県ごとでも小グループで集会を持たれているようである。

昨年の総会は、佃宗忠氏（昭和46年草地）のご尽力
により、熊本市内茶道裏千家「桶遊庵」で開催され、
19名の会員に加え、佃氏の特別配慮で3名の美女の参
加を得て、いつもと違う華やかな雰囲気でした。また、
母校70周年の報告もあり、野川（昭和29年酪農）、山
田（昭和30年獣医）を囲み、とくに古き良き学生時代
の話で盛り上がり、和やかで、楽しい一時でした。締

めは、全員肩を組み、声を張り上げ「帯広畜産大学追
遥歌」の謳歌で終わりました。

今年は、村上建徳氏（昭和49年酪農）の世話で、熊
本県阿蘇山麓の地で総会を行います。多数の参加を願
っています。

今年6月、山田進二氏（昭和30年獣医）が「どうぶ
つと半世紀」を出版されました。これは、熊本日日新
聞が“朝刊長期企画シリーズ”に連載したもので、著
者の50余年にわたる動物とのかかわりの話です。

九州支部は卒業生が集まれば、十勝で青春を謳歌し
た私たちが日本の南、九州・沖縄の地において、北海
道・本州・四国の同窓生に負けず劣らず帯広畜産大学
の同胞として、それぞれの分野で活躍されていること
を確信するとともに、帯広畜産大学同窓会とともに九
州支部が益々の発展と飛躍することを祈念してやみま
せん。

訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。[敬称略]

荒 木 力 (S18高 獣 畜 産)	向 後 定 一 (S25獣 医 畜 産)	高 橋 峯 生 (S45院・ 獣 医)
本 間 潔 (S18高 獣 畜 産)	亀 谷 勉 (S25獣 医 畜 産)	山 田 修 義 (S60院・ 獣 医)
岡 本 三 樹 (S19獣 医 畜 産)	志 摩 忠 男 (S23農 専・ 酪 農)	新 村 捷 策 (S33酪 農)
工 藤 薫 (S20獣 医 畜 産)	浅 利 俊 吉 (S23農 専・ 酪 農)	石 川 篤 四 (S35酪 農)
細 海 忠 (S20獣 医 畜 産)	山 崎 優 (S24農 専・ 酪 農)	門 範 明 (S36酪 農)
白 瀬 司 郎 (S20獣 医 畜 産)	黒 木 昭 典 (S25農 専・ 酪 農)	中 村 充 (S50酪 農)
岩 城 富 士 雄 (S20獣 医 畜 産)	山 田 稔 (S30獣 医)	安 田 勲 (S31総 農)
植 田 勝 美 (S22獣 医 畜 産)	窪 道 護 夫 (S33獣 医)	中 野 武 司 (S34総 農)
國 分 正 利 (S22獣 医 畜 産)	木 村 仁 己 (S35獣 医)	山 中 桂 郎 (S37総 農)
遠 藤 政 孜 (S23獣 医 畜 産)	鶴 乃 園 正 昭 (S36獣 医)	河 崎 章 (S40総 農)
東 海 林 昌 夫 (S23獣 医 畜 産)	一 林 俊 二 (S36獣 医)	木 村 敏 雄 (S46化 学)
藤 田 松 巳 (S23獣 医 畜 産)	荒 川 治 男 (S36獣 医)	高 坂 英 男 (S46工 学)
熊 谷 宏 (S24獣 医 畜 産)	大 山 秀 夫 (S41獣 医)	徳 井 順 (S54工 学)
鈴 木 保 太 郎 (S25獣 医 畜 産)	久 米 勝 己 (S42獣 医)	大 路 讓 一 (S57別 科)
鈴 木 和 枝 (S25獣 医 畜 産)	土 門 秀 次 (S43獣 医)	藤 野 安 彦 (旧 教 官)
佐 藤 忠 (S25獣 医 畜 産)	山 崎 真 嗣 (S48獣 医)	

*2011年6月から2012年11月10日までに、本部事務局にご連絡をいただきました。

事務局だより

逍遙舎の使用について

創立70周年を記念し、帯広畜産大学同窓会は「逍遙舎」を大学に寄贈しました。

「逍遙舎」は、同窓会員、職員、学生が相互の懇親などの交流の場として使用できます。利用を希望される方は、大学総務課にお申し込みください。

問合せ先 総務課総務係 49-5216
(平日8:30-17:15)

HP <http://www.obihiro.ac.jp/alumnus/syouyousya.html>



逍遙舎奥より入り口付近を望む（碧雲寮歌）



図書館に眠っていた「逍遙歌の額」



逍遙舎全貌

同窓会事務について

同窓会事務局は、本年4月より、諸般の事情から事務職員の配置を取りやめ、その作業を帯広畜産大学生協に委託しました。なお、電話、FAX等は、これまでと同様ですので、お問い合わせは、下記にお願いします。

同窓会事務局（平日8:30-18:00）

〒080-8555 帯広市稲田町西2線11番地

帯広畜産大学内

電話0155-49-5996 FAX0155-49-5996

E-mail dousou@obihiro.ac.jp

HP <http://www.obihiro.ac.jp/~dousou/>

平成23年度 事業報告

- 平成23年10月8日 同窓会総会開催
大学創立70周年記念式典、記念講演、同窓会館引渡式、祝賀会
- 10月18日 同窓会事務局逍遙舎へ引越
- 10月20日 第3年次編入畜産科学課程合格者（4名）、学士編入学2年次獣医学課程合格者（0名）へ協賛金納入願いを発送
- 10月31日 学内役員懇談会・事務局員（平方さん）退職
- 11月20日 同窓会名簿発行
- 12月1日 新事務職員配置（前田さん）
- 12月10日 第1回役員会開催
- 12月15日 推薦入試合格者（64名）、別科推薦入試合格者（15名）、帰国生特別入試合格者（0名）へ協賛金納入願いを発送
- 12月17日 青森支部総会出席（辻事務局長・学長）
- 平成24年1月19日 大学院修士課程・博士前期課程第2次募集合格者（7名）へ協賛金納入願いを発送
- 2月下旬 卒業および修了予定者に終身会費納入願いを配布
- 2月16日 大学院博士後期課程第2次募集合格者（4名）、大学院修士課程・博士前期課程国際協力特別選抜合格者（1名）へ協賛金納入願いを発送
- 3月6日 私費外国人留学生特別入試合格者（2名）、一般入試前期日程合格者（156名）、別科一般入試合格者（2

名)へ協賛金納入願いを発送
 3月19日 卒業式会長祝辞
 3月21日 一般入試後期日程合格者(58名)
 へ協賛金納入願いを発送
 3月31日 事務職員退職(前田さん)
 4月2日 学内役員懇談会・事務局業務一部
 を生協へ委託化開始
 7月中旬 協賛金納入者へ記念品贈呈
 6月16日 関東同窓会総会出席(由佐会長・
 辻事務局長・学長)
 9月22日 三重支部同窓会総会出席(砂川副
 会長・学長)
 9月4日 大学院修士課程・博士前期課程合
 格者(42名)、大学院修士課程・
 博士前期課程(平成24年10月入学)
 合格者(2名)、大学院博士後期
 課程(平成24年10月入学)合格者
 (1名)へ協賛金納入願いを発送

12月8日 大阪・兵庫支部合同総会出席(砂
 川副会長・学長)
 12月中旬 推薦入学合格者、別科推薦入学合
 格者、帰国生特別選抜合格者へ協
 賛金納入願いを発送
 平成25年1月26日 石川支部総会出席(辻事務局長・
 学長)
 2月初旬 大学院修士課程第2次募集一般選
 抜合格者へ協賛金納入願いを発送
 卒業および修了予定者に終身会費
 納入願いを配布
 2年次編入学・3年次編入学合格
 協賛金納入者へ記念品贈呈
 2月中旬 大学院博士後期課程一般選抜合格
 者、大学院修士課程・博士前期課
 程国際協力特別選抜合格者へ協賛
 金納入願いを発送
 3月初旬 私費外国人留学生特別選抜合格者、
 一般選抜前期日程合格者、別科一
 般選抜合格者へ協賛金納入願いを
 発送
 3月中旬 卒業式会長祝辞
 3月下旬 一般選抜後期日程合格者へ協賛金
 納入願いを発送
 5月中旬 協賛金納入者へ記念品贈呈
 9月上旬 同窓会報の発行予定
 大学院修士課程一般選抜・社会人
 特別選抜・外国人留学生特別選抜
 合格者、大学院修士課程(平成22
 年10月入学)一般選抜・社会人特
 別選抜合格者へ協賛金納入願いを
 発送予定
 10月初旬 同窓会総会開催予定(午前中)

平成24年度 事業計画

平成24年10月13日 平成24年度帯広畜産大学同窓会役
 員会・代議員会開催
 釧路支部総会出席(由佐会長・学
 長)
 10月18日 第3年次編入畜産科学科学合格者、
 学士編入学2年次獣医学課程合格
 者へ協賛金納入願いを発送
 11月中旬 同窓会報の発行予定
 11月17日 鳥取支部総会出席(由佐会長・辻
 事務局長・学長)
 12月7日 第1回役員会開催

編集後記

早いもので、今年もあとひと月を残すのみとなり
 ました。昨年は、東日本大震災、畜大70周年記念事
 業と大忙しの年でした。今年は、同窓会総会の無い
 年で、会報の発行はゆっくりじっくりできると思っ
 ていたのは大間違い、いつものように泥縄作業で、
 ようやく皆さんの手元にお届けできることとなりま
 した。また会長のご挨拶にあるように皆様のお力で
 設立した「逍遙舎」も大学の研究室、学生、クラブ・
 クラスOB会等に沢山使っていただき、建てがいが
 あったものと喜んでおります。逍遙舎写真にも写っ
 ているように、かつて碧雲寮にあった寮歌や図書館

に眠っていた逍遙歌もこの「逍遙舎」の一員となり、
 喜んでいるものと思います。残念ながら土・日は施
 錠しておりますが、事前申し込みいただければ、土
 日も使用可能ですので、そのときはぜひ、事務局に
 一声おかけください。皆様のご来場を役員一同、お
 待ちしています。最後に、当会元会長(現顧問)吉
 川睦夫氏(S25酪農)、当会代議員白河功氏(S32
 総農)お二人の叙勲に対しお喜び申し上げます。こ
 れを皆様にお知らせすると同時に、こんな記事もど
 んどん会員便りに投稿いただければ記事集めに苦労
 している身としては、大変助かることを申し添えま
 す。(文責：辻修)

帯広畜産大学同窓会平成23年度通常会計決算報告

(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

収入金額 7,709,750 円
 支出金額 3,795,884 円
 次年度繰越金額 3,913,866 円

収入の部

単位：円

項 目	H23年度予算	H23年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	3,264,259	3,264,259	0	前年度繰越金
名簿販売	300,000	285,000	△ 15,000	名簿:3,000×37冊、名簿広告:3件 174,000
終身会費	4,000,000	4,120,000	120,000	20,000×198(学生協賛金)、20,000×8(終身会費)
雑収入	155,741	40,491	△ 115,250	利息:491、寄付2件 40,000
合 計	7,720,000	7,709,750	△ 10,250	

支出の部

単位：円

項 目	H23年度予算	H23年度決算	増 減	備 考
印刷代	2,500,000	1,571,771	△ 928,229	名簿700冊。封筒その他
通信、郵送料	500,000	187,766	△ 312,234	通信・郵送料、料金受取払い、会報発送料
人件費	900,000	1,013,541	113,541	給与、施設管理費、アルバイト
事務費	100,000	186,093	86,093	事務用品
会議費	100,000	30,000	△ 70,000	役員会ほか
交通費	300,000	32,000	△ 268,000	役員旅費
役員手当	190,000	190,000	0	10000×19名(1年分)
記念品代	235,000	461,250	226,250	5年分購入
雑費	300,000	123,463	△ 176,537	慶弔費、終身会費二重払い返金、振込手数料他
予備費	2,595,000	0	△ 2,595,000	
合 計	7,720,000	3,795,884	△ 3,924,116	

平成23年度監査報告(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成24年10月11日

監 事

中家 敏博



石塚 結達



帯広畜産大学同窓会平成23年度周年事業特別会計決算報告

(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

収入金額 15,804,739 円
 支出金額 1,309,253 円
 次年度繰越金額 14,495,486 円

収入の部 単位：円

項 目	H23年度予算	H23年度決算	増 減	備 考
前年度繰越金	14,780,338	14,780,338	0	
通常会計から	0	0	0	
70周年記念事業から	1,000,000	1,006,559	△ 6,559	建設代金、まていの力、祝賀会費支払い後の残金の返金
雑収入	4,662	17,842	△ 13,180	定期利息:1,761、寄付:16,081
合 計	15,785,000	15,804,739	△ 19,739	

支出の部 単位：円

項 目	H23年度予算	H23年度決算	増 減	備 考
周年事業活動費	1,000,000	1,309,253	△ 309,253	
周年事業基金	14,785,000	0		
合 計	15,785,000	1,309,253	14,475,747	

平成23年度監査報告(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成24年10月11日

監 事

中 泉 敏 博



石 塚 紘 達



帯広畜産大学同窓会70周年事業特別会計決算報告

(平成21年10月1日～平成24年9月30日)

収入金額 26,519,977 円
 支出金額 25,513,418 円
 周年会計へ 1,006,559 円

収入の部

単位：円

項 目	予算	決算	増 減	備 考
70周年記念事業費	30,000,000	25,531,660	△ 4,468,340	寄付金15,435,080円 周年事業基金10,096,580円
までいの力		272,800	272,800	までいの力2,500円×106 までいの力2600円×3
記念祝賀会費		712,000	712,000	記念祝賀会費4,000円×178
雑収入		3,517	3,517	利息 JAかわにし、北洋定期
合 計	30,000,000	26,519,977	△ 3,480,023	

支出の部

単位：円

項 目	予算	決算	増 減	備 考
会館建設費（確認申請、完了検査込み）	30,000,000	24,081,000	△ 5,919,000	H22年度支払い：15,000,027円 H23年度支払い：9,080,973円
までいの力		283,400	283,400	109冊発送済み(2500+100)×109
記念祝賀会費		732,055	732,055	会費：4000円×178人分=712,000円 祝賀会テーブルカッター式：20,055円
会館設備・備品		416,963	416,963	冷蔵庫、家具、プリンタなど
合 計	30,000,000	25,513,418	△ 4,486,582	

平成23年度監査報告(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

帯広畜産大学同窓会の上記期間の監査を実施したところ、適切に処理されていることを認めます。

平成24年10月11日

監 事

中家 敏博



石塚 紘達



帯広畜産大学同窓会平成24年度通常会計予算

(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

収入の部

単位：円

項目	H24年度予算	H23年度決算	増減	備考
前年度繰越金	3,913,866	3,264,259	649,607	
名簿販売	900,000	285,000	615,000	名簿:3,000×300冊
終身会費	4,000,000	4,120,000	△ 120,000	20,000×200人
雑収入	9,134	40,491	△ 31,357	利息、寄付金
合計	8,823,000	7,709,750	1,113,250	

支出の部

単位：円

項目	H24年度予算	H23年度決算	増減	備考
印刷代	1,000,000	1,571,771	△ 571,771	会報19号発行他
通信、郵送料	1,000,000	187,766	812,234	通信・郵送料、料金受取払い
人件費	500,000	1,013,541	△ 513,541	同窓会館（逍遙舎）管理費、アルバイト
事務費	100,000	186,093	△ 86,093	事務用品
会議費	100,000	30,000	70,000	役員会ほか
交通費	100,000	32,000	68,000	役員旅費
役員手当	190,000	190,000	0	10000×19名（1年分）
記念品代	0	461,250	△ 461,250	H23年度に5年分購入
雑費	300,000	123,463	176,537	慶弔費、終身会費二重払い返金、振込手数料他
予備費	5,533,000	0	5,533,000	
合計	8,823,000	3,795,884	5,027,116	

帯広畜産大学同窓会平成24年度周年事業特別会計予算

(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

収入の部

単位：円

項目	H24年度予算	H23年度決算	増減	備考
前年度繰越金	14,495,486	14,780,338	△ 284,852	
通常会計から	0	0	0	
70周年記念事業から	0	1,006,559		
雑収入	4,514	17,842	△ 13,328	利息ほか
合計	14,500,000	15,804,739	△ 1,304,739	

支出の部

単位：円

項目	H24年度予算	H23年度決算	増減	備考
周年事業活動費	1,000,000	1,309,253	△ 309,253	
周年事業基金	13,500,000	0		
合計	14,500,000	1,309,253	13,190,747	

帯広畜産大学同窓会会則

昭和36年7月7日制定
平成5年10月16日改訂
平成9年10月18日改訂
平成11年10月23日改訂
平成13年10月6日改訂
平成19年10月13日改訂

第1章 総 則

- 第1条 本会は帯広畜産大学同窓会と称する。
- 第2条 本会は会員相互の連絡と親睦、並びに帯広畜産大学の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 同窓会報の発行
 2. 同窓会名簿の発行
 3. 帯広畜産大学の後援
 4. その他本会の目的を達成するための必要な事業
- 第4条 本会の事務局は帯広畜産大学内に置く。

第2章 会 員

- 第5条 本会の会員は次の資格を備うるものとする。
1. 帯広畜産大学及びその前身の卒業生
 2. 帯広畜産大学畜産学専攻、大学院畜産学研究科、及び別科修了生
 3. 岐阜大学大学院連合獣医学研究科及び岩手大学大学院連合農学研究科の修了生で本学の講座に所属したものの
 4. その他代議員会で認めたもの
- 第6条 本会は帯広畜産大学及びその前身の同窓会以外の教員を特別会員とする。
- 第7条 会員は住所、その他の異動があった場合は、その都度本会に速やかに通知しなければならない。

第3章 役 員

- 第8条 本会は帯広畜産大学長を名誉会長に推薦する。
- 第9条 本会は次の役員を置く。会長1名、副会長若干名、事務局局長1名、庶務3名、会計3名、名簿編集委員3名及び監事2名。ただし、会長が必要と認めた場合は役員を追加することができる。役員会は前記の役員で構成し、本会の日常的な運営にあたる。本会は役員会の推薦により顧問を置くことができる。
- 第10条 会長及び副会長は代議員会において会員中より選出し、総会の承認を受けるものとする。その他の役員は役員会において会員中より選出し、代議員会の承認を受けるものとする。役員及び代議員の任期は一期二年とし、再選を妨げないが、会長の任期は二期を越えないこととする。
- 第11条 会長は本会を代表し、会務を統理する。副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはその職務を代行する。
- 第12条 事務局局長は庶務と共に会務を担当する。
- 第13条 会計は会費を徴収し、本会の資産管理と予算の適切な執行を担当する。
- 第14条 名簿編集委員は同窓会名簿の発行を担当する。本委員は名簿の編集の円滑化を計るため、名簿編集委員を委嘱することができる。
- 第15条 監事は本会業務の執行及び会計の状況を監査する。
- 第16条 役員会は会長が招集しその議長となる。本会は構成役員

の過半数の出席で成立し、会の議事は出席者の過半数をもってこれを決する。

- 第17条 役員会は支部等から若干名の代議員を委嘱し、重要な会務を審議するために役員と代議員とで構成する代議員会を置く。
- 第18条 代議員会は会長が招集しその議長となる。代議員の3分の2以上の署名により会議の目的事項を示して請求があったときは、会長は代議員会を招集しなければならない。代議員会は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し、議事は過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第19条 代議員会は次の事項を審議する。
1. 予算及び決算
 2. 会費の変更
 3. 重要な資産の処分
 4. その他重要な事項

第4章 総 会

- 第20条 総会は通常総会と臨時総会とする。通常総会は原則として隔年で開催するものとする。臨時総会は代議員会において必要と認めるとき、また10分の1以上の会員の署名により会議の目的事項を示して請求があったときはこれを開くこととする。
- 第21条 総会は会長が招集し、その議長は会員中より総会で選出する。
- 第22条 次の事項は通常総会においてその承認を受けるものとする。
1. 会則の変更
 2. 役員人事
 3. 資産目録
- 第23条 総会の議事は出席会員の過半数をもってこれを決する。可否同数の場合は議長の決するところによる。
- 第24条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収入をもってこれに充当する。

第5章 資産及び会計

- 第25条 本会の重要な資産を処分するには、代議員会の決議を経て、総会の承認を得なければならない。
- 第26条 会員は終身会費として卒業または修了後速やかに20,000円を納めなければならない。但し、特別会員は会費を免除する。
- 第27条 本会の活動を支援していただく目的で、帯広畜産大学に入学される新入生に同窓会協賛金20,000円の納入をお願いする。この協賛金は卒業あるいは修了時に自動的に終身会費に切り替わるものとする。但し、何らかの事情で途中退学されたときには、本人からの請求があれば返金するものとする。
- 第28条 本会の会計年度は毎年10月1日に始まり、翌年9月30日に終わる。

第6章 支 部

- 第29条 本会はその目的を達成するために、必要があるときには支部を設けることができる。
- 第30条 支部を設置しようとするものは、その代表者から本会に届け出なければならない。
- 第31条 支部は支部会において、特別の定めをすることができる。

付 則 この会則は平成19年10月13日から施行する。